

ヘンゼルとグレーテル		
箇所	楽器	注意事項
8小節目・3,4拍	Vn1,Vn2,Vla,Vc	クレッシェンド。4拍目はわりと強め
8小節→9小節に入る時	全楽器	次に subito p になる。そのための時間的余裕を感じる。Vcさん、次に突っ込まないで
9小節目・p subito	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb	p subito
Bの5～6小節目	全楽器	<>
Bの7～8小節目	全楽器	<>
Cの9小節目	Cl,Fg,Vn2,Vla,Vc,Cb	>> 重く
Dの6小節目から	全楽器	ppスタート
Dの6小節目・4拍目	Vn1	ちょっと 溜める
Dの7小節目・1,2,3拍目	Vn1	付点四分音符を風のように減衰させる。抜く
Dの7小節目・4拍目	Vn1	ちょっと 溜める
Dの8小節目・1,2,3拍目	Vn1	付点四分音符を風のように減衰させる。抜く
Eの1小節～10小節	Vn1,Vn2,Vla	16分音符は個々人が目立たないようにする 森の中で風がサワサワする様子で
Fの4,3小節前	Vla,Vc,Cb	pizz は走らないように注意する
Fの1小節前	全楽器	テンポ緩める。次に場面が変わるから
Fからは	全楽器	楽しく、嬉しく踊るシーン、幸せな音楽
Fの1小節～8小節	Vn2,Vla	pizz をもっと聞かせてください
G	全楽器	子供達の合唱シーン。縦揃える。 走らないように注意
Hの1小節前	全楽器	テンポ緩める。次のHに突っ込まないで
Iの4小節前～2小節前	全楽器	クライマックス
Iの4小節前～2小節前	Vn1,(Fl)	ファー シー が3回ある。 3回目に向けて盛り上げてゆく
Iの3小節前～1小節前	全楽器	テンポ緩める
Iの最初から	Tb	テンポが戻ります。遅れないようにする。
Lの1小節目	全楽器	もっと p からスタート
Lの3小節目	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb, Fl,Ob,Cl	f
Lの3小節目	Fg,Hr,Tp,Tb,Per	fp
Lの5小節目	全楽器	もっと p からスタート
Lの7小節目	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb, Fl,Ob,Cl	f
Lの7小節目	Fg,Hr,Tp,Tb,Per	fp
Lの9小節目	全楽器	もっと p からスタート
Lの11小節目	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb, Fl,Ob,Cl	f
Lの11小節目	Fg,Hr,Tp,Tb,Per	fp
Mの2小節前～1小節前	全楽器	テンポ緩める(中身が詰まっていく)。 この2小節間で強いクレッシェンドをする
Mの1小節前の4拍目	全楽器	直前の3拍目と連続しない。4拍目はM以降の旋律のアーファクトという位置付け
O	全楽器	各自の fp を忠実に。特にpの時間を確保する。 出るべき人がいる時は、その他の人は引っ込む。
Pの3小節目の頭	全楽器	1つ目の山
Pの5小節目の頭	全楽器	1つ目の谷
Pの7小節目の頭	全楽器	2つ目の山
Pの9小節目からの	全楽器	stringendoを廃止
Pの10小節目	全楽器	テンポ緩める
Pの11小節目の頭	全楽器	3つ目の山 ff
Pの15～16小節	全楽器	強めの小山
Pの17～18小節	全楽器	中位の小山
Pの19小節	全楽器	rit をここから開始 (Pの21小節にあったritを2小節前倒し)
Pの19～20小節	全楽器	弱めのクレッシェンド
Pの21～22小節	全楽器	静かになってゆき、次のppに繋げる
Q	全楽器	とっっても静かに

タイスの瞑想曲		
箇所	楽器	
ソロに合わせましょう		
22小節	全楽器	ここから Piu mosso 前に進む
34小節への入り	Vn1	ちょっとテンポを緩ませて34小節へ入ること
34小節	全楽器	ここから Piu mosso agitato 前に進む
51小節	全楽器	直前にソロが加速している。乗り遅れないように入る
51小節～58小節	Vn1	Vn1はソロに合わせる
65小節の2拍目	全楽器	65小節の2拍目 一瞬切る。

ネッスンドルマ		
箇所	楽器	注意事項
Aの3小節～4小節の3拍まで	Ob	ここは、わりとサクッと進む
Aの4小節の4拍目	Ob	溜めるなら、ここ
Bの1小節前	Vn1,Vn2	クレッシェンド そろえる
Bの入り	Vn1	なだれ込まない。
B	全楽器	ソロが終わったので、比較的サクッと進む
Cの1小節	Fl,E.H.,Cl,B.Cl,Vn2	ろうろうとし過ぎない。サクッと進む
Cの1小節の4拍目	全楽器	溜める
Cの2小節	Fl,E.H.,Cl,B.Cl,Vn2	ろうろうとし過ぎない。サクッと進む
Cの2小節の4拍目	全楽器	溜める
Dの1拍前	全楽器	各楽器ごとに楽譜に忠実にフェルマータする Hr,Vcのみ伸ばし続ける
Dの2小節	Vn1,Vn2	急がない
Dの2小節の4拍目	全楽器	次の小節に雪崩れ込まない。 Dの3小節の1拍目が振り下ろされるまで待つ
Dの4小節の4拍目	全楽器	次の小節に雪崩れ込まない。 Dの5小節の1拍目が振り下ろされるまで待つ
Dの5小節の3,4拍目	Vn1	少し緩める
Eの1小節～4小節の3拍	全楽器	pppにしてFの2拍前まで維持。 とても遠くからの音楽
Eの4小節の4拍	全楽器	Fの1拍目に向けて、一拍でクレッシェンドする
Fの1小節	Ob2,Cl,Fg1,Tp2,3	ろうろうとし過ぎない。サクッと進む
Fの1小節の4拍目	全楽器	rit というよりは、次の小節に雪崩れ込まない
Fの2小節	Ob2,Cl,Fg1,Tp2,3	ろうろうとし過ぎない。サクッと進む
Fの2小節の4拍目	全楽器	rit というよりは、次の小節に雪崩れ込まない
Hの半拍前	全楽器	16分音符廃止。代わりに8分音符を置く。鎌倉さんが振り分けるので、その8分音符をフェルマータする
H以降	全楽器	A tempo, rit チョコと書いてあるけど気にしない

マノンレスコー		
箇所	楽器	注意事項
①の9小節以降	全楽器	前に進む。ここから速くすると決める程ではないが自然にそうなるが良い
①の9小節2拍目裏～10小節頭	Vc,Cb	停滞しない。
①の11小節	Vc	せつかくなのでアピールする
②の頭	全楽器	ff いきなり
②の1小節～6小節	全楽器	たっぷりと演奏する
②の7小節を ②' とする。		
②'の1小節 最初の付点四分音符	Fl,Ob,Fg1, Vn1,Vn2,Vla,Vc	長めに吹く、弾くと 効果的にSostenendo入りを表現できる
②'の1小節～5小節の1拍目	全楽器	Sostenendo たっぷりと演奏する
②'の4小節	全楽器	ppからスタート。
②'の5小節2拍目～12小節	全楽器	movendo 前に向かって演奏する
②'の8小節	Fl,Ob,Fg1, Vn1,Vn2,Vla,Vc	魂を入れる (pp の状態で)
②'の13小節 最初の四分音符	Fl,Ob,Fg1, Vn1,Vn2,Vla,Vc	長めに吹く、弾くと 効果的にSostenendo入りを表現できる。前の小説からタイで音が連続している人も、13小節の一拍目(強拍)であることを意識する。

## マノンレスコー

箇所	楽器	注意事項
②'の13小節～16小節	全楽器	Sostenendo たっぷりと演奏する
③の1小節前	Fl,Ob, Vn1,Vn2,Vla,Vc	魂を入れる
③の1小節～4小節	全楽器	movendo 前に向かって演奏する
③の5小節～8小節	全楽器	Sostenendo たっぷりと演奏する
③の9小節～12小節	全楽器	movendo 前に向かって演奏する
④の1小節前	全楽器	魂を入れる。そのまま④に向かって突っ込み。
④の出だし	全楽器	movendo 維持
④の5,6小節	全楽器	三連符で自然とテンポを減速する
④の8小節のみ	全楽器	4つ振りに合わせてテンポを減速する
④の13小節	全楽器	6つ振りに合わせる
④の13小節の1拍目	Vn1,Vn2	8分給付を意識する
④の13小節の3拍目	全楽器	この小節は強く演奏するのですが、3拍目のデクレッシェンドで泣きを入れてください
⑤の3小節の3拍目	Vn1	rall 廃止
⑤の3小節の3拍目	Fg1,Vc	Fg1,Vc両者合わせて。Vcは2拍目の入りが早すぎないように注意

## カバレリアルスティカーナ

箇所	楽器	注意事項
6小節2拍と3拍の間を	全楽器	軽く開ける
7小節2拍と3拍の間を	全楽器	軽く開ける
7小節3拍目	Vn1	5連符を合わせる
9小節	Vn1	テヌートをたっぷりと弾く
9小節→10小節に入る時	全楽器	次の小節に雪崩れ込まない 楽譜に斜め線入れておいてください
10小節	Vn1	どちらかといえば、サクッと進む
Aの1小節と3小節	Vn1	装飾音符 ソ をわりと長めにください
Aの6小節	全楽器	クレッシェンドを保つ
Aの6小節→7小節に入る時	全楽器	次の pp の小節に雪崩れ込まない。 楽譜に斜め線入れておいてください
Aの7小節	全楽器	pp
B	全楽器	pp開始。クレッシェンドを保つ。テンポを速める
Bの4小節	Ob,Vn1,Vn2,Vla,Vc	先の2分音符より後の4分音符を若干控えめにする
Cの1,2小節	全楽器	mf
Cの3,4小節	全楽器	p
Cの4小節の4拍目	全楽器	pを維持。
Cの5小節の1拍目	全楽器	pのまま維持。
Cの5小節の2拍目	全楽器	ここで初めてクレッシェンドを開始する
Cの6小節	全楽器	この小節の3拍を全てfに維持。 3拍目のデクレッシェンドは廃止する。
Cの7小節	全楽器	この小節の3拍でデクレッシェンドする
Dの3小節	全楽器	この小節の3拍を全てfに維持。 3拍目のデクレッシェンドは廃止する。
Dの4小節	全楽器	この小節の3拍でデクレッシェンドする。
Dの6,7小節	全楽器	6つ振りに合わせる。
Dの7小節	全楽器	3拍目にデクレッシェンドを開始。 ここは楽譜そのまま変更なし
Dの11小節	全楽器	遅くするので6つ振りに合わせる
最終小節	全楽器	Cbに合わせて音を止める

## バックナール

箇所	楽器	注意事項
最初から最後まで	全楽器	一旦始まったら同じテンポで進む
Bの6小節	Ob,E.h.	8分音符を粘着系で
Bの23小節	Vn1	アクセントつけて入る。ppですが。
Cの始まり	Vn1,Vn2	まだ、そんなに大騒ぎにはならないこと

バックナール		
箇所	楽器	注意事項
Dの8小節前から	木管の8分音符の人	8分音符は走らずに、スタッカート
Dの13小節	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb	走らない
ドッピオ・ピュー・レント	Vn1,Vn2,Vla	緩苦なりがちなメロディだけれども、テンポ感は堅持する
ドッピオ・ピュー・レント	16分音符,32分音符刻みの人	頭の16分休符を休み過ぎない
ドッピオ・ピュー・レントあけの 2/4から	木管の8分音符16分音符の人	8分音符、16分音符 転がらないように
F	Vn1,Vn2,Vla	8分音符は全部短くしてください
Gの21小節	Vc,Cb	piu f

ベト7番 一楽章		
箇所	楽器	注意事項
全体を通して休符を大切にしてください		
9小節4拍目	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb	コンマスに合わせる。
12小節	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb	ppを維持する
29小節	Vn1	輪郭をはっきりとする
29小節	Ob,Fg	ppを維持する
32小節	Vn1,Vn2	8分音符を軽く抜く。
42小節	全楽器	仕切り直し
44小節	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb	静かに入る
49小節	Vn1,Vn2	8分音符を軽く抜く。
58小節	Fl,Ob	いざなう
58小節	Vn1,Vn2	こたえる
73小節	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb	重くならないように注意する。
73小節 → 74小節 → 75小節	Fl → Cl → Fl	受け渡しをスムーズにする
77小節	Vn1,Vn2,Vla,Vc,Cb	sfp はびっくりさせる感じで弾く
89小節	Vn1	sempre ff は前に進める感じで弾く
101～105小節	Fl	食いつきを良くする
115小節 や 119小節	全楽器	クレシェンドをいきなりする。
124小節～127小節	全楽器	八分音符が2つ並んだ形では、 頭の方を強くし、後の方を弱くすること
156小節	全楽器	pp
156小節	全楽器	いきなりクレッシェンド
187小節	Vn1	1拍目の入りを明瞭にする。 前の小節の伸ばし音の"ついで"で弾かない
319小節～122小節	Vn1,Vn2,Vla,Vc	八分音符が3つ並んだ形は、 頭を強くし後を弱くする
319小節～122小節	Vn1,Vn2,Vla,Vc	八分音符が3つ並んだセットが8個あるので 4小節間でクレッシェンドする。
401小節～404小節	全楽器	1/5と楽譜に記入する。 ppスタート、この後段階的に強くしていく
405小節～408小節	全楽器	2/5と楽譜に記入する
409小節～412小節	全楽器	3/5と楽譜に記入する
413小節～416小節	全楽器	4/5と楽譜に記入する
417小節～420小節	全楽器	5/5と楽譜に記入する
421小節～422小節	全楽器	最後のクレッシェンド。

天国と地獄 (アンコール)		
箇所	楽器	注意事項
全体を通して	全楽器	強弱記号を大袈裟にやる。
T、U、X、Y	特に管楽器	2分音符、4分音符をシェイプする ブロック形にはしない
Uの4小節前	全楽器	p cresc を廃止。ffのままとする。
Uの10小節	Tp	入りが遅れている。直前のブレスのせいかな？
Uのアーファクト	Tp	重くならないで、次の小節Uに突っ込んで欲しい
U	Hr,Vn1,Vn2,Vla	裏拍を停滞させない
W	全楽器	改めてp
Y	全楽器	音楽のギャグだと思って fp は極端にやる。